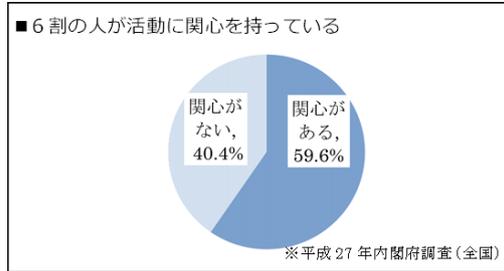


東京都ボランティア活動推進協議会 気運醸成分科会について

1 背景

(1) 東京におけるボランティア活動の現状



■ 活動を行う都民の割合が低い
ボランティア行動者率 24.6% (全国 35位)

順位	都道府県名	ボランティア行動者率(%)
1	山形県	35.3
...		
35	東京都	24.6
(参考)	全国	26.3

※平成23年総務省調査

⇒関心はあるが、行動に移せない都民が多い

(2) 分科会の設置

このような現状を踏まえ、東京都は、東京2020大会開催の機会を捉え、より多くの都民に大会関連を含めた様々なボランティア活動に参加してもらえるよう、大会成功、気運醸成と裾野拡大を図ることを目的として設置された東京都ボランティア活動推進協議会の下に、気運醸成分科会を設置いたします。

当分科会においては、①都民をはじめ様々な主体がボランティア活動を行っていくために、構成団体がそれぞれの立場からどのような取組をしていくかの検討を行い、②ボランティア活動の気運醸成・裾野拡大につながる情報の収集・発信を行うことを目的とします。

2 具体的な取組内容

○ 第1回気運醸成分科会 (10月上旬予定)

- ・ 気運醸成分科会の設置趣旨、取組内容について
- ・ 各構成団体から取組の紹介(数団体からは具体の紹介)及び今後に向けての意見交換
- ・ 都から各団体に対する社会貢献大賞の表彰候補の推薦依頼

○ 第2回気運醸成分科会 (12月予定)

- ・ 第1回気運醸成分科会の意見交換の結果を踏まえて、今後の方向性・取組について検討

○ 第2回東京都ボランティア活動推進協議会 (1月下旬予定)

- ・ 気運醸成分科会の取組の紹介と社会貢献大賞の贈呈を実施

3 気運醸成分科会に求められるもの

- 構成団体等が紹介する他の団体が参考とできる取り組み事例を普及
- より多くの都民をボランティア活動に結びつけるために、よりの確な情報発信とは何かを議論し、実践
- 広報展開など、構成団体が協力して、ボランティア気運醸成に係る新たな事業を実施

など